

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(マガキ) KD-23-11号

平成24年1月20日発行

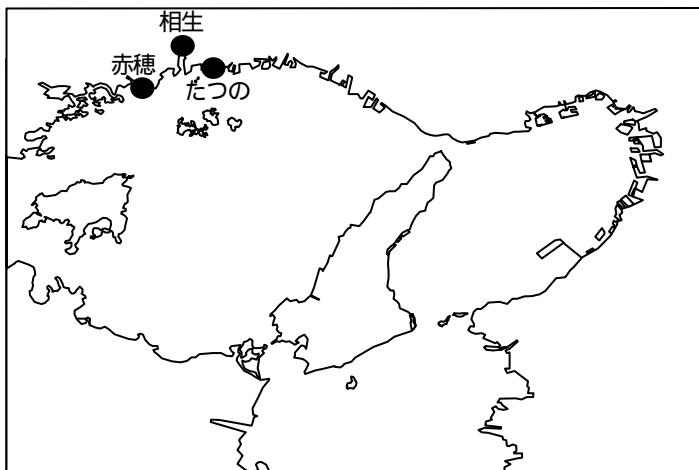
プランクトン及び貝毒検査を1月16日～20日に実施しましたので、その結果をお知らせします。
 【概況】・貝毒検査の結果、今回検査した全地点で、貝毒は検出されませんでした。
 ・貝毒原因プランクトンは確認されませんでした。



【検査結果】

年月日(採水・採取)		H24.1.16	H24.1.16	H24.1.16
地点(St.)		たつの(室津)	相生	赤穂(坂越)
水温()		9.1	8.5	8.6
塩分		30.6	30.3	30.1
貝類の毒化状況 (マウスユニット/g)	麻痺性貝毒	ND	ND	ND
	下痢性貝毒		ND	
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマランセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0	0
	ディノフィシス アキョミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	0

NDとは、検出限界以下のことです。



< 規制の基準 >

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g
 下痢性貝毒: 0.05マウスユニット/g } を超えた場合

< 注意が必要なプランクトン密度 >

- ・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
 アレキサンドリウム タマランセ *Alexandrium tamarense* 5,000 個数/ℓ以上
 アレキサンドリウム カテネラ *Alexandrium catenella* 50,000 個数/ℓ以上
- ・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)
 ディノフィシス フォルティ *Dinophysis fortii* 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・次回は2月13日の週に定期調査(麻痺性貝毒検査)を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報 KD-23-12号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 資源部・山下、宮原)
 Tel : 078-941-8601 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>